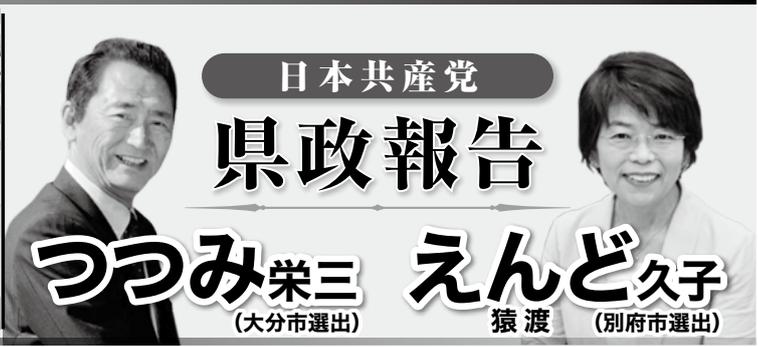


2023年2月27日から3月17日まで、2024年度予算案を審議する第一回定例会が開催されました。今回は統一地方選挙があるので、継続事業費や人件費が中心です。

今回は一般質問ではなく、補正予算及び2024年度予算に対する質疑を二人で行いました。しっかりと予算案を審議し、肉付け予算に反映するよう求めました。

日本共産党大分県議団



## えんど久子県議 当初予算に対する質疑



### コロナと物価高騰で大変! 県民を支えるのが県の仕事

#### 物価高騰の対策には賃上げを

えんど久子県議が行った県政アンケートに寄せられた「コロナでずっとお金がきついの」に物価高でさらにきつい」「介護士として20年勤務しているが、昇給は1,000円だけで手取りは16万。子育てするのに不安で仕方

がない」という声を紹介し、えんど県議は「私たちはこの声に応える責任がある。中小企業等への直接支援とセットでの賃上げを軸に実体経済を立て直すことが重要だ」と知事をただしました。

#### 知事は未だにアベノミクス

知事は、プレミアム商品券の発行や賃上げするために事業者が価格転嫁しやすいような取り組みなどを説明し、「賃上げの環境を整え、成長の果実が分配される好循環を実現したい。」などと答弁。この答弁はアベノミクスと同じトリクルダウ



ン方式で、实体经济の底上げにならないことは明らかです。

#### ニーズに合った支援策を

えんど久子県議は「知事から業務改善助成金のお話もあったが、設備投資などの条件があり活用が非常に少なく、予算を

6億8,950万円も残している。ニーズに合った支援が必要だ」と強調しました。

#### 学校給食費の無償化を県として検討を

えんど久子県議は「急激な物価高騰で学校給食が家計を圧迫している。月平均の給食費は、公立小学校では4,353円、公立中学校では4,750

円、特別支援学校4,894円となっている。県内では豊後高田市・宇佐市で無償化を実施し、全国的にも広がっている。無償化を実施するべきだ」

#### 給食費無償化は県の仕事ではないと強弁

教育長は、「給食費の金額は、設置者である市町村が決定をしており、無償化を含む保護者負担の軽減策等についても、市町村のやること。県では、補助制度の創設などの恒久的な財政措置について国へ要望している」と言い、無償化は県の仕事ではないと強弁している。

えんど久子県議は「学校給食の無償化は、昨年の11月時点で全国では小中学校とも無償が254の自治体。小学校のみが6、中学校のみが11。小学校と支援学校から始めるのか、段階的に行うことも含めて考えるべきです」と重ねて求めました。

## 日出生台日米共同訓練

えんど久子県議は、「2月に行われた日出生台演習場での共同実動訓練『アイアン・フィスト』について、私たちが2月13日にオンラインで防衛省に訓練中止を求めた際、防衛省は「アメリカ西海岸でやっていた訓練を日本で初めて行うもので、特筆すべきものだ」と回答しました。移転訓練が行われた同年度内に日米共同訓練が行われた例はなく、実質的な負担

増大」とただしました。防災局長は、「日米共同訓練は、日米安全保障条約等に基づき国の責任で実施するものだ」との答弁です。



## 敷戸弾薬庫

えんど久子県議は「政府が2023年度に大分分屯地に大型弾薬庫を新設する。この報道に近隣の住民などから『有事に狙われないか』不安の声が広がっています。国会で日本共産党の小池晃参議院議員の質問に対し、浜田防衛大臣は敵基地攻撃兵器『スタンダード・オブ・ミサイル』の一つ『12式

地対艦誘導弾能力向上型』の保管を想定していることを認めている。住宅地の真ん中に大型弾薬庫を作ることを受入れるべきではない。県として中止を求めるべきだ」と質問。県は「県としても国に対して県民の安全安心の確保のため、丁寧な説明と万全の対策を講じていたただきたい」と答弁。

## 弾薬庫は質的に変貌する

えんど久子県議は「憲法違反の攻撃型のミサイルを爆買いするというもので、これまでの延長線上ではない。日本共産党の穀田恵二衆議院議員に対して、浜田防衛大臣が国会で、日本が敵基地攻撃を行えば反撃され、日本に大規模な被害が生じる可能性がある」と、国会答弁で認めています。核攻撃も想定し、自衛隊の基地を地下に移そうとしている。これは住民の安全のためのもではない。県としてノーと言うべきだ」

知事は「今まで弾薬庫に1ヶ月分しかなかったのが、2ヶ月分になるぐらいの話で、質的に変わるわけではない、量的に変わるわけです。それ以上わからない」と答弁。日出生台、弾薬庫と知事も県当局も無責任な答弁で、この本質をわかっていないことが浮き彫りになりました。知事には、しんぶん赤旗を読んでいたただきたいものです。



(地元住民と現地調査)



## 宇宙港の取組について

「宇宙港が将来的に軍事利用されることはないのか、私は懸念を持っている。万が一、軍事利用されようとする場合は県として断固拒否すべきだ」とえんど久子県議。県は「宇宙関連の取り組みは、民間事業者による商業目的の人工衛星の打ち上げや宇宙ステーションからの物資の商業輸送が想定されている。国内宇宙ビジネスの育成、振興に資するものだ」

最後にえんど県議は、「国言いなりでは県民の命も暮らしも守れない」と強調しました。



## つつみ栄三県議 補正予算等に対する質疑



### 妊産婦医療費助成制度について

つつみ栄三県議は「妊婦が病気やけがで病院にかかるときには大きな不安があり、安心して医療にかかれる体制を作ることが必要ではないか」とたずねました。

知事は「妊娠高血圧症候群などで入院した場合の一部助成がある。」として「県として様々な施策にしっかりと取り組んで

いきます」と答弁しました。また、再質問でも制度の創設は大事なことを考えるが、現在の制度をしっかりと取り組んでいくと繰り返し返すにとどまりました。

つつみ栄三県議は「人口減少の中妊産婦に対する医療費助成は、有効な対策でありぜひ県としても創設を」と求めました。

### 国民健康保険税における 子どもの均等割への支援策について

つつみ栄三県議は「未就学の子どもには軽減制度があるが、それ以外は加入者数に依りて、例えば大分市であれば均等割り一人42,900円上乗せされる。家族が多くなればなるほど負担が高くなるという、昔の人头税のような非人道的な

税制であり、子育て支援策にも反するものになっている。せめて18歳までの子どもに対する国保税の均等割りを0にするところが子育て支援につながる」と県としての支援策をとるよう求めました。

福祉保健部長は「子どもの多い世帯の負担増は

認識している」としながら「今後も全国知事会を通じて軽減対象の拡大や

### 会計年度任用職員の待遇改善について

つつみ栄三県議は「非正規雇用の増加は低賃金・不安定なワーキングプアの増大に直結する。コロナ感染拡大の時の非正規雇用の方々の働きは特筆するものがあつた。長期の雇用形態でこそ、

経験を蓄積されいざという時にその力が発揮される。正規化こそが必要」とたずねました。

総務部長は「勤勉手当などの引き上げは国の動向を見て」と答弁するにとどまりました。

### 降下ばいじん対策について

つつみ栄三県議は、日本製鉄の降下ばいじん問題について、「地域住民にとつてはまだ被害は深刻であり、さらなる低減を求めている」とことや、萩原に住んでいる方から、ばいじんのひどさを告発する声を紹介しながら、さらなる低減をしよう求めました。また昨年12月に大分県と大分市、日本製鉄の三者で、

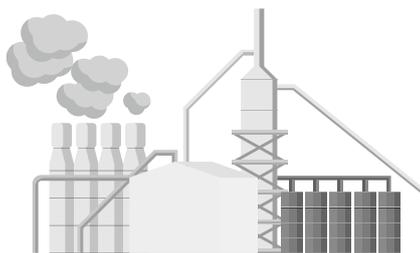
降下ばいじんの細目協定の管理目標値の見直しを



公費負担割合の拡充など要望をしていく」と答えるにとどまりました。

し、それによって生活環境がどのように改善されると考えているのか」とたずねました。

生活環境部長は「公害防止協定に基づき立ち入り調査等で、降下ばいじん対策を求めてきた」、「管理目標値は当初の1㎏当たり月6tから、2025年10月の第2コーク入炉の更新に伴い5.5tに引き下げをした」と答弁。つつみ栄三県議は「0.5tの引き下げで生活環境は改善するのか」と再質問。部長は「集じん機のバグフィルターなど改修していくが、被害低減を数値化することは難しい。引き続き協議はしていく」と答弁。



## 議案に対する態度

	日本共産党	自由民主党	県民クラブ	公明党	しんせい大樹会	志士の会	元気な玖珠郡を創る会	採決	
議									
									骨格予算といっても、無駄な事業推進や疲弊している県民の暮らし応援や中小業者支援が予算化されていないので反対。反対討論で支援策の強化を求めました。
案									
									企業局の職員定数を15人増やすものなので賛成。
									新たな放置艇を出さないため係留施設の許可を1年から3年に延長することには賛成するが、大企業優遇の大在コンテナクレーン使用料の減免期間の延長も含まれているので反対。
議員提出案									
									共産党提出の意見書ですが、自民党・公明党の反対多数で不採択に。

### 請願が継続審査となり審議未了廃案へ

今回の議会に、赤とんぼの会から提出された「陸上自衛隊大分分屯地への大型弾薬庫新設に反対する」請願と、公益社団法人認知症の人と家族の会の「第9期介護保険制度改正に向け被保険者の負担増につながる見直しを行わないことを求める」請願が、福祉保健生活環境委員会で継続審査となりました。（これは結局議員の任期が選挙で切れるので、審議未了廃案となります）。このような県民の安全と安心にとって大切な請願を、審議未了廃案にすることは許せないことだと考えます。

## 県議団の活動・要求実現活動

### 日米共同訓練の中止を求める要請

今回の日米共同訓練は、これまでアメリカで行ってきた訓練を日出生台で行い、オスプレイや水陸両用車などを使い、島しょ奪還作戦として実行されたものです。今回の共同訓練は政府による敵基地攻撃能力の向上と米国の戦争に、日本を巻き込んでしまうものであり、国に中止を求めるよう大分県に要請しました。



### 陸自大分分屯地（敷戸弾薬庫）の大型弾薬庫施設建設について中止を求める要請

「国家安全保障戦略」などにより、敵基地攻撃能力向上型の長射程のミサイルを保管等するための施設を、敷戸弾薬庫に建設する計画です。大分市が相手国からの反撃にあい、戦場と化してしまう危険性があるものです。危険な施設建設の中止を国に求めるよう大分県に要望しました。

